



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



令和3年9月14日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
 代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一
 (コード番号 8925 東証二部)
 問合せ先 取締役執行役員企画本部長 荻坂昌次郎
 (TEL 03-5367-2001)

2021年7月期通期連結業績予想と実績値との差異および貸倒引当金繰入額の計上、個別決算における関係会社出資金評価損の計上に関するお知らせ

2020年9月14日に公表いたしました2021年7月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年7月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2020年8月1日~2021年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,005	2,950	2,571	2,501	7.63
実績値(B)	18,286	2,960	2,391	2,231	6.81
増減額(B-A)	281	10	△180	△270	—
増減率(%)	1.6	0.3	△7.0	△10.8	—
(ご参考) 前期実績 (2020年7月期)	21,399	3,245	2,352	2,379	7.06

※ 1株当たり当期純利益の計算は親会社株主に帰属する当期純利益を期中平均発行済株式総数(自己株式を除く)で除して算出しますが、参考までに期末発行済株式総数(自己株式を除く)で除した場合は7.03円となります。

2. 差異の理由

(1) 貸倒引当金繰入額の計上

債権の回収可能性について、相手先が受けている今般のコロナ禍の影響等も含めて、慎重に検討した結果、2021年7月期連結決算において、貸倒引当金繰入額1億68百万円を営業外費用に計上いたしました。

(2) 法人税等

法人税等の額が期首に見込んでいた数値よりもおよそ 90 百万円増加したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

3. 個別決算における関係会社出資金評価損の計上

当社が保有する関係会社出資金について、今般のコロナ禍の影響、当該会社の業績、財政状態を鑑み、出資金の評価を保守的に評価し会計監査人と協議した結果、2021 年 7 月期の個別決算において、関係会社出資金評価損 10 億 45 百万円を特別損失に計上いたしました。この関係会社出資金評価損は連結決算において消去されるため、2021 年 7 月期の連結業績に与える影響はありません。

なお、本日公表の 2021 年 7 月期決算短信（連結）の 2022 年 7 月期の業績予想欄に記載しておりますとおり、当社の連結子会社が 2021 年 7 月期中に清算終了したことにより、連結子会社が存在しないこととなったことから、2022 年 7 月期から当社は個別決算となります。2022 年 7 月期の個別財務諸表で表示される関係会社出資金の簿価はこれまでの連結財務諸表の簿価とほぼ同じになる見込みです。

以上